

議員とカダる会（議会報告・意見交換会）報告書

開催日時	令和6年11月6日（水） 13時00分～14時30分
開催場所	青森大学
会場責任者	工藤 健
記録者	長谷川 章悦、相馬 純子
出席議員	工藤 健、万徳 なお子、小熊 ひと美、相馬 純子、柿崎 孝治 山本 武朝、長谷川 章悦、館山 善也
参加者数	48名(大学生45名、教員3名)
報告内容	—
意見交換内容 (意見の要旨)	<p>テーマ：青森市への思い～若者の人口流出について～</p> <p>【テーマ1：市議会と学生の距離を近づけるには？】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者というくくりで言われることが多いが、一人一人に目を向けてほしい。 <p>→教授から</p> <ul style="list-style-type: none"> ○同じように議員も一人一人の人間である。 ・若者はなぜ選挙に行かないのか。選挙よりも自分の生活をとってしまふのが残念である。 ・議員の皆さんと機会があれば近づきたい。政策には興味がある。 ・中学校や高校でも選挙に関わる場面があるといい。 <p>→議員から</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若者と関わる場が少ないと感じている。仕組み作りをしていきたい。 ○議員とカダる会もやったきが多い。カダったことを政策につなげていく仕組みが必要だと思う。 ○学生も就職して暮らしを持つとどうしたらいいかという視点が出てくると思う。 ○青森市は高校生までの医療費を無料にした。子育てしやすいところはどこか、暮らしやすいところはどこか、自治体によって変わるので、何か一つの物差しができてくると変わっていくのではないかと。 ○子ども会も地域ねぶたもなくなり子どもと大人が接する機会がなくなった。会話から感じたり得たりすることがあるので集いや今日のような機会は大切だと思う。 <p>【テーマ2：どんなかわり・つながりを作っていけるか？】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大畑まつりで地域の方とつながっている。 ・祭りでつながるって大きいと思う。 ・秋田のお祭りが好きで秋田に帰っている。地域の祭りを残していくことは大事だと思う。 ・岩手県一関では大人だけのイベントがある。故郷に関わっていききたい。 ・地域のラジオ体操で交流している。 ・集会所でラジオ体操・ゴミ拾い、出し物をやったりする。

	<ul style="list-style-type: none"> ・弘前ねぶたに中・高校生になると参加しなくなるが、伝統文化は大切にしたい。 ・大学祭に議員のブースを設けてお招きするといいい。 <p>→教授から</p> <ul style="list-style-type: none"> ○青森大学のねぶたもいいが地域のねぶたにも参加してほしい。 <p>浪岡地区は地域力が強い。弘前では10年先のUターン、10年がかりで考えている。ねぶたを皮切りにして10年先に帰ってくるまちづくりをしている。弘前の移住体験にねぶたの製作にかかわってもらう取り組みがある。いろいろなつながりを再構築できると思う。</p> <p>→議員から</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツクラブを作ったり梵珠山で合宿をしたり、地域で活動することが好きだった。小・中・高校生も集まって楽しむ活動やいろいろな人と接することはとても大事。 ○ねぶた祭りは力強い唯一無二の祭りだ。地域ねぶたや子どもねぶたがある。コロナ期間はやめていたところもあるがぜひ参加してほしい。 ・ねぶたの造形、太鼓の音すごいと思う。伝統を受け継いでいきたい。 <p>【テーマ3：どんな青森市 青森県を作っていくか？】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シビックプライド、誇りを感じない。実家に帰って誇れるものを伝えたい。形ではない誇れるものがあるか。 <p>→議員から</p> <ul style="list-style-type: none"> ○八甲田の雪は雪質がよくすばらしい。 ○銭湯が温泉である。こんなところは他にはない。 ○八戸や弘前の方は町を誇りに思っている。青森は希薄。要因を考えている。 ○優しい人が多い。 <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながり・イベントを頑張りたい。 ・楽しみにしていたが、議員さんと話す時間が少なく残念だった。 <p>地域の魅力を誇れる学生はいるのだろうか。まずは地域を知ることが大事だと思う。知ることで好きになれるし戻ってこようとも思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選挙が身近になるように小学生のうちから学べるといい。
記録者所見	選挙や議員は縁遠いものだと感じるのは、機会がないからという声が多かった。学生の皆さんは議員と関わる場を求めているのだと実感することができた。もう少し学生と話す時間がほしかった。

青森市議会議長 様

令和6年11月8日

上記のとおり報告いたします。

会場責任者 文教経済常任委員長 工藤 健

